

道徳科の全面実施に向けて、自校の道徳教育の目標を明確にする！

～今年度の取組を振り返り、次年度の具体的方策につなげる～

道徳科の全面実施に向け、本号では次年度の計画立案に向けてのPDCAサイクルについて掲載しています。職員研修を通して自校の道徳教育の目標を明確にし、重点内容項目を設定することで、道徳科で目指す子供の姿をより具体的にすることができます。3学期の校内研修の参考にしてください。

教育活動全体における道徳教育及び道徳の授業の確実な実施

今年度の自校の道徳教育の成果と課題を明らかにする

次年度の計画立案に向けて自校の道徳教育の目標の明確化(重点目標の設定)

重点内容項目の設定

全体計画及び別葉の作成

グループ協議では…

◆学校規模に応じて、グループ編成を工夫しましょう。

【例】上・下学年(担任外を含む)各学年担任(学年団)と管理職等

◆設定時間内で効率よく実施できるよう工夫しましょう。

【例】①は事前に各自で記入しておく

◆児童生徒の生活アンケートや保護者アンケート等、自校の重点目標に関わるデータを一緒に提示することで、より具体的な話し合いにすることができます。

児童生徒の実態(成果・課題)を全職員で確認するためのワークショップ型校内研修(事例)

- 1 研修の目的、ゴール、方法の説明(5分)
- 2 グループ協議(40分)

- ①個人…成果(子供の成長・よさ)と課題を付箋に記入
- ②グループ…付箋を表に整理
- ③個人…目指す姿を付箋に記入
- ④グループ…付箋を表に整理

・全体計画の評価・見直しにいかすために、出てきた意見を、「今年度重点とした内容項目」と「それ以外の内容項目」という視点で整理する。

・次年度に取り組むべき具体的な方策につなげるために、目指す姿は、優先順位を付ける。

〈マトリックス表の例〉

	成果	課題	目指す姿
重点目標			
その他			

- 3 協議内容の報告(10分) ※グループ数に応じて適宜設定
- 4 全体のまとめ(5分)

・各グループでの共通事項等を確認する。

※次年度の方向性などの詳細は、道徳教育推進教師を中心とするチームで整理した後、**全職員で確認**しましょう。

※初等教育資料(2016年4月号)を参考に作成

設定時間や協議の進行具合によっては、目指す姿を具現化するための方策も④グループで協議するのもよいでしょう。校内研修の機会を使って、具体策やアイデアを出し合い、次年度の取組につなげましょう！



〈校内研修実施のメリット〉

- ・教職員が日々行っている児童生徒の実態の見取りを、一度に全職員で共有することができる。
- ・協議した内容は、最終的に学校長が次年度の重点目標を決定する際の拠り所となる。

道徳教育全体計画の別葉(作成例)

各教科

〈内容項目で整理するメリット〉

道徳科以外の、自校の道徳教育の指導内容と教科等とのつながりが明確になる。

→道徳科における「補充・深化・統合」の視点が明確になる。

「A希望と勇気、努力と強い意志」は様々な場面で指導する機会があるわ。学年のまとめの時期でもある2月の「いつかにじをかける」では、これまでの学習や経験したことが子供の中でつながることを意図して指導しよう!



「統合」の視点

全面実施に向けて準備しておくべき事等については、「お役立ち情報」平成28年度3月号を参照してください。

西部教育局 お役立ち情報

検索

○小学校第4学年 道徳と教科等のかかわり

内容項目、各教科	道徳	特別活動	国語	社会	算数	理科
(1) 善悪の判断、自律、自由と責任	14 全学年					
(2) 正直、誠実	9 伸び					
(3) 節度、節制	15 誠					
(4) 希望の伸長	10 いよいよになって、わらったためだ	28 日まじし時計				
(5) 希望と勇気、努力と強い意志	16 うめのおき村の四兄弟					
(6) 希望と勇気、努力と強い意志	2 ぼくのへんしん					
	32 いつかにじをかける					
	3 なにがゆずがよい					
	25 ゆづきの心算					
	33 ボロいっし					

重点内容項目は印(※)をつけたり、色枠で示したりして一目で分かるようにする

- *教材名の左の数字(例: 2、32) …教科書(東京書籍『新しいどうとく4』)の目次に記載されている指導順
- *○囲みの数字(例: ④、②) …指導する時期を表す(例: ④→4月)

内容項目